

第71号

青森地区保護司会

保護司会だより

発行：青森地区保護司会広報部
 青森市長島1丁目3-28
 更生保護施設プラザあすなる
 青森地区更生保護サポートセンター内
 TEL017-763-0763



令和4年5月5日、ねぶたの家「ワ・ラッセ」西広場にて

湧き上がる2年越しの若い力 第15回 AOMORI 春フェスティバル
 [代替イベント]

新たな出会いを 心待ちにして



青森保護観察所長

野尻 実

公務員生活も30年以上となり、この間、東北地方を中心に異動してまいりましたが、今般が初めての青森勤務となります。保護観察所は、主に県庁所在地に事務所があり、比較的便利で環境的には恵まれた職場といえますが、短期間で異動を繰り返すことは、経済的負担など大変なこともあります。かつて先輩からは「その土地を愛せ。」などと声をかけられたこともあり、公務員の宿命とも思いますが、新たな勤務地に向かうときは、期待よりも不安が大きいものです。それでも、時間の経過とともに、「住めば都」となり、いずれの土地でも、人との出会いや結びつき、歴史・文化や伝統に触れたことは、大きな財産になっており、御当地でも、新たな出会いがあることを心待ちにしております。

さて、青森市と言われてまず思いついたのは「ねぶた祭り」ですが、人々の気質と言われれば「じょっぱり」でしょうか。「じょっぱり」は「情張」からきており特に津軽地方の人々の「じょっぱり度」が高いとのことですが、厳しい自然環境の中で営々と生き抜いてきた青森県民のがまん強さ、負けず嫌いを象徴するとされています。小職といえば、おしんの故郷山形県出身だからではありませんが、自己主張が得意ではなく、調和を大切にするタイプと自認しており、やや気圧されてしまうかもしれませんが、何事にも粘り強く取り組む東北人として通じるものがあると思います。

駄弁が長くなりましたが、これからの更生保護は、自治体や地域の関係機関・団体との連携を一層進め、実効性のある再犯防止施策に取り組むとともに、保護司の安定的確保やICTの活用など活動基盤を強固にする中で、保護観察の指導にとどまらず「地域社会への貢献」をどう進めていくかが課題とされています。依然としてコロナ禍は予断を許さず、活動に制限はありますが、引き続き感染防止対策に努めつつ、こうした課題に一步ずつ取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくご支援・ご協力をお願いいたします。

再犯防止・出所者等を就労で支援

令和4年度定時総会

令和4年度定時総会は、5月10日、アップルパレス青森にて開催され、来賓の野尻青森保護観察所長（4月転任）挨拶後、令和3年度事業報告、収支決算を承認、続いて令和4年度事業計画案、収支予算案について審議、満場一致で原案通り承認された。（総数127名、出席者57名、委任状43名）

天内会長から、コロナ禍により事業の中止が多かった中で、中学校との連携事業は、佃中学校で社会を明るくする運動が出来たが、リモートの具合が悪かった。今年度は、南中学校との連携事業が予定されている。昨年、青森県再犯防止推進計画が策定され広報活動もなされたが、物足りなさを感じた。また青森市にも再犯防止推進計画の策定を改めてお願いに行く予定。今後、様々な行事があるので、保護司の協力を願いたい。などの話があった。

野尻所長の挨拶では、保護司は更生保護の中核を担っているが、地域



定時総会で来賓挨拶する野尻青森保護観察所長（写真左）



定時総会後の懇親会

における支え手が存在し、活躍していることは、再犯の防止や対象者の改善更生のために極めて重要。保護司制度は国際的にもその意義が認められていて、昨年3月京都で開催された国際会議の京都コンGRESSにおいても、「京都保護司宣言」として採択されるなど、改めて日本の先進的で誇るべき伝統である保護司制度の大切さについて思いを新たにしました。一方、保護司は全国的にも減少傾向となっており、特に若い世代を中心に幅広い年齢層に対して制度を周知していくことが求められているので、保護司適任者確保に向け支援を頂きたいと述べた。

令和4年度 青森地区役員等名簿

※理事名簿は、総会資料をご覧ください。

会 長	天 内 修	(第1分会)	常務理事	樋 口 修 三	(第3分会)
副会長	石 田 次 郎	(第1分会長)	事務局長	佐 藤 俊 政	(第4分会)
"	長 尾 幸 治	(第2分会長)	会 計	山 田 啓 子	(第3分会)
"	田 邊 孝 美	(第3分会長)	庶 務	野 澤 絹 枝	(第2分会)
"	鳴 海 峰 泰	(第4分会長)	"	棟 方 公 男	(第3分会)
"	鎌 田 喜代志	(第5分会長)	"	酢 谷 奈保子	(第1分会)
監 事	佐 藤 光 子	(第1分会)	"	工 藤 美智子	(第4分会)
"	徳 差 誠 悦	(第2分会)	広報部会長	佐々木 雅 久	(第5分会)
"	加 藤 節 子	(第3分会)	研修部会長	塩 原 誓 子	(第2分会)
"	北 山 英 之	(第4分会)	渉外部会長	市 川 和 行	(第4分会)
"	工 藤 照 造	(第5分会)	地域活動部会長	阿 部 哲	(第4分会)

令和4年度

地域別定例研修

開催日 5月10日(火)
会場 アップルパレス青森



感染症拡大防止に対応した研修会風景

コロナ禍における保護観察等について

令和4年度第1回地域別定例研修会は、5月10日アップルパレス青森で地区保護司127名のうち58名が参加し開催された。

講師は、青森保護観察所・杉野森保護観察官で「コロナ禍における保護司活動等について」研修がすすめられた。



講師の杉野森保護観察官

1人1人が警戒レベルを上げ、感染しない・させない行動を！

面接前チェックシートで該当すれば面接を延期するか、代替手段をとる

面接前チェックシート

- 2週間前から今日まで、平熱を超える発熱（目安37.5度）はありません。
- 咳、のどの痛みなど風邪の症状はありません。
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はありません。
- 嗅覚や味覚の異常はありません。
- 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状はありません。
- 新型コロナウイルス感染症陽性と判断された者との接触はありません。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいません。
- 過去14日以内に、政府から入国制限を受けたり入国後の観察期間を必要とされている国・地域へ渡航したこと又は当該国・地域からの入国者と接触したことはありません。

- ★面接時は、必ずマスクを着用してください！
- ★面接の前後には、手洗い・手指消毒を励行してください！

感染症拡大が報じられて2年以上経過したが、現在においても感染の拡大が収まる様子は見られず、いまだ予断を許さない状況が続いている。

保護観察及び生活環境の調整など感染症対策を講じながら実施してきたが、今一度コロナ禍における対策について確認すると共に保護司の不安解消につながる事を狙いとした。

令和4年度 保護司研修計画

地域別定例研修【保護司全員】（保護区単位で実施）

実施時期	研修テーマ
第1回（4月～6月）	コロナ禍における保護観察等
第2回（7月～9月）	「就労支援」について
第3回（10月～3月）	「保護観察及び生活環境調整」

特別研修【事務担当者】（青森保護観察所での集合研修）

実施時期	内容
6月	保護司会事務担当者研修

年次別研修【対象の保護司】（保護区単位で実施）

名称	対象者	実施時期（予定）
処遇基礎力強化研修	委嘱後概ね2年未満 職務遂行上の事務手続き及び処遇の実務	令和4年 10月4日(火)
指導力強化研修	委嘱後概ね2年以上 4年未満 処遇上の知識・技術の習得	令和4年 10月25日(火)

令和4年度 社会を明るくする運動 ポスター



主唱 / 法務省

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第72回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。

社明 シャーメイ



第72回 “社会を明るくする運動”

～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ ～



【青森地区推進委員長 小野寺市長】

本年度の社会を明るくする運動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限、延期または中止になる場合があります。



青森地区
保護司会
ホームページ

① 青森地区推進委員会

今年度は、県推進委員会開催が中止となったため、当地区の推進委員会は、縮小して開催予定です。

② 中学校との連携活動

日時／令和4年7月11日(月)
会場／南中学校
(地域活動部会・保護司会第2分会)

③ 街頭広報活動

例年アウガ前などで開催していますが、今年度は検討中です。

④ 青森ねぶた祭りに参加

今年度は、青森市PTA連合会ねぶたが不参加ですので、県保護司会連合会では参加しません。

⑤ 社明広報キャラバン隊

◎7月／三者連携(保護司会・更生保護女性会・BBS会)社明キャラバン隊
◎8月／津軽海峡一周社明キャラバン隊広報活動

⑥ 出前!更生ホゴちゃん

日時 令和4年10月
7日(金)・8日(土)・9日(日)
会場 アウガ1F「駅前スクエア」



令和4年度
予告

更生保護関係団体の主な行事

新型コロナウイルス感染症拡大防止により延期または中止になる場合があります。

“社会を明るくする運動”

青森刑務所「矯正展」

開催日 / 10月に開催予定
場所 / 青森刑務所

第39回 令和4年度 みんなのつどい

青森地区更生保護女性会

日時 / 令和4年7月27日(水)
会場 / リンクモア平安閣市民ホール

社明広報キャラバン隊

7月予定 ◎三者連携(保護司会・更生保護女性会・BBS会)
8月予定 ◎青森地区保護司会・更生保護サポートセンター

第72回「社会を明るくする運動」
総理大臣メッセージ (YouTubeより)



黄色い羽根は、更生保護の証です。
保護司は、いつでも積極的に着用しましょう。

青函保護司合同研修会

開催地 / 函館地区 9月開催予定

県央ブロック保護司研修会

開催地 / むつ下北地区 10月開催予定



法務省保護局
社会を明るくする運動
ホームページ

第42回 令和4年度 青森県更生保護大会

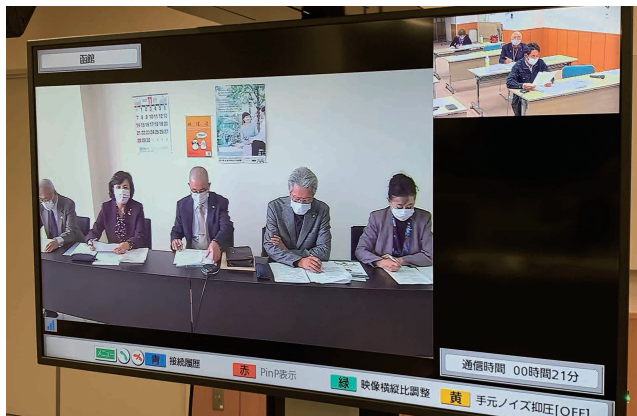
開催日 11月2日(水)
会場 五所川原市ふるさと交流圏民センター(オルテンシア)

第31回 令和4年度 東北地方更生保護大会

開催日 11月11日(金)
会場 秋田市・あきた芸術劇場ミルハス

函館地区保護司会とリモート意見交換会

令和3年11月8日(月) 青森保護観察所



モニターの画像は、函館地区保護司会オンライン交流会



2年に一度開催してきた函館地区保護司会との研修・交流会は、コロナ過により実施出来なかったが、この度、リモートで意見交換会を開催した。

函館地区から岡会長他5名、青森地区は、天内会長他8名が参加。社会を明るくする運動の事業報告、令和4年度のツイン提携合同研修会、新任保護司の確保について意見交換を行った。函館地区の新たな取り組みでは、給油スタンドや関係団体の協力で社明運動のぼり旗を掲揚など多彩に活動していた。

令和4年3月1日付

新任保護司紹介

「保護司の委嘱をうけて」



木村 弘文

第1分会
青森市赤坂

数年前から、青森地区役員の田邊副会長より保護司のお誘いを頂いておりましたが、勤務先の転勤等と家族の反対が有り躊躇しておりました。一昨年会社退職後青森に戻り、少しでも人の世のために役立つ事があればと思い、家族の了承を得、意を決し申請をさせて頂きました。長年のサラリーマン生活でボランティア活動の経験が全くなく、果たして保護司の活動が自分に出来るのか先の見えない不安な気持ちですが、先輩保護司の経験談等をお聴きしながら現在送付頂きました新任保護司の資料に目を通しております。上司の教えでありました「知識に心を入れなければ知恵にはならない」「技術があっても心がなければ技にはならない」を心掛け、感謝の気持ちで、知識・技術・心を高め、早く一人前の保護司として活動出来るように、積極的に取り組んで参ります。最後に関係各位、諸先輩方皆様のご指導ご支援を、何卒宜しくお願い申し上げます。



蝦名 和人

第1分会
東郡平内町小湊

2年くらい前から『保護司にならないか、なってくれないか』と天内会長や平内の田中明子先生や酢谷先生、保護司OB佐藤武治先生からお声を掛けて頂いておりました。私は若い頃から土木建設会社を経営させて頂いており、5年前より協力雇用主に登録を致しました。その間で12~3人の刑務所出所者等を雇用してきました。現在では就業継続3年目、2年目の者が3名、プラザあすなろ様の入所者1名が就業しております。今までは協力雇用主として更生保護のお手伝いをしてきましたが、この度大先輩の皆様から保護司へのお声をかけて頂きながらも、自分で大丈夫なのか自問自答しながら、ようやく決心し保護司の委嘱を賜りました。保護観察対象者が心を開ける様寄り添い、出会に感謝し、更生へ向かう助力になればと思います。なにも分からず飛び込みますので先輩先生方にはご負担をおかけするかと思いますが一歩ずつ自分も成長していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



遠藤 浩一

第4分会
青森市三内

所属している団体で敬愛する先輩が、保護司を務められており、よく会合の際に、保護司の役割について熱く語っておられた事が思い出されます。今回、ライオンズクラブの先輩から、お誘いを受け、私の現状を考慮すると、重い役割かなと考えておりました。30代に経験した青年会議所の先輩方々から、役割を依頼されたら、“はい喜んで”の気持ちで受けたほうが良いとのアドバイスを思い出し、若輩ですが喜んで保護司の任を受けることにいたしました。中学校のPTA会長ならびに中学校区のコミュニティースクールの副会長を4年目となり、現在在籍の生徒の健全育成の環境整備の為に、そして、次世代の生徒が健やかな環境を継続できる為の活動を基調として、保護司の基本的な役割の他に、児童生徒の為の啓蒙活動もできればよいと考えております。現時点では、不安な思いもありますが、保護司の役割を真摯に取り組んでまいりたいと思っております。ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



最上 和幸

第4分会
青森市千刈

私は36年間青森県の福祉行政に従事し、退職したら保護司を希望しようと決めていました。36年間のうち27年は、児童相談所や児童自立支援施設など児童福祉の分野におり、これまで多くの子どもや家庭と接する機会がありました。相談援助の業務では、短期的な目標を定めて集中的な支援を行う場合もありますが、親や親戚などを頼れない子どもの場合には、18歳という年齢の枠を超えて、長期的に関わっていく必要性を感じた例もありました。しかしながら、仕事上異動や転勤があり、継続して支援するということが難しく、もどかしく感じたこともありました。今回、保護司をさせて頂くことで、地域において、可能な限り、一人の方とじっくりとお付き合いする中で、その方が社会の中で自分らしく生きていくことを、一緒に考えていくことができるのではないかと期待しています。今後、様々な研修や先輩方との交流を通じて研鑽に努め、精一杯取り組んで参ります。

令和4年3月1日付

新任保護司紹介

「保護司の委嘱をうけて」



古村 智子

第5分会
青森市浪岡

ある会合で保護司の田邊さんから「誰か保護司になりたい人いないか」とお願いを受けました。ちょうど仕事を退職するので余った時間を世のため人のために使いたいと思っていました。「何もわかんねんけどいいの」と聞くと「やりたいと言う思いで充分」と言われたので無謀にも「やりたい」と即答していました。不思議なもので保護司と言う言葉を意識すると保護司活動を扱ったドラマや映画を月に数作品を見ました。経験のない分野で大丈夫だろうかと不安になった反面、経験がないからこそ活動する価値があると感じました。ですから研修会には毎回参加して学び、先輩保護司の皆様方にご指導とご助言を仰ぎ、対象者の方には、気負うこともなく、真摯に向きあっていきたいです。一年生保護司をどうぞよろしくお願い致します。

退任保護司

千島 昇 (4分会) 逝去 (令和4年2月22日)

新任保護司

三上 鉄 則 (5分会) 他5名は除く・本号で紹介 (令和4年3月1日)

分会移動

津嶋 博 (2分会) 5分会から移動 (令和4年4月1日)

更生保護功労者32名に

令和3年度 更生保護功労表彰状伝達式

令和3年11月11日、アピオあおもりにて、東北地方更生保護委員会委員長表彰9名他、令和3年度更生保護功労者表彰状伝達式が行われた。

委嘱から7年目で表彰された保護司は、保護観察や環境調整の経験は多くはないが、面倒な対象者や家族と出会って、自分が勉強させられている感じがする。様々な体験を通して、これからも精進し保護司は続けてみたいと豊富を語った。

また本来であれば、県更生保護大会で開催される法務大臣表彰・全国保護司連盟理事長表彰は、令和3年11月19日にホテル青森にて関係者のみで開催されている。(県内全サポートセンターにリモート配信された。)

令和3年度更生保護功労表彰状伝達式・記念講演



受表彰者名簿は、保護司だより第70号(令和3年11月発行)をご覧ください。

海外勤務経験を生かす

演題：「グローバルな生き方」

～海外勤務経験を地元青森で生かす～

記念講演 保護司 相馬氏

令和3年度更生保護功労者表彰状伝達式の前に、保護司会3分会の相馬氏が「グローバルな生き方」と題して記念講演が開かれた。1988年に青年海外協力隊員としてコロンビア共和国へ赴任。1990年にはJICA(国際協力事業団)事務所駐在職員として勤務、その後ホンジュラス事務所駐在職員、チリ事務所駐在職員として勤務するなどおよそ11年間海外で過ごす。2004年帰国、現在は青森田中学園事務局職員として、海外勤務で培った豊富な知識と経験を青森で生かしている事、さらに青森において何ができるか模索している。



事務局ニュース

令和4年度 地区主要行事予定

令和4年4月1日～令和5年3月31日

保存版

新型コロナウイルス感染症拡大防止により
延期または中止になる場合があります。

※空白の日付けは、現在は未定となっています。※印は保護観察所及び各団体事業

月 日		保護司会及び観察所 主 要 行 事
4	12	監査会
	15	第1回少年鑑別所意見交換「第3分会」
	21	第1回正副会長会・理事会及び役員等合同会議
	25	4月事務局合同連絡会
		分会総会（1分会16日、2分会16日、3分会15日、4分会9日、5分会14日）
5	10	第1回地域別定例研修 ※ 【保護司全員】
	10	令和4年度 地区保護司会定時総会 【保護司全員】
	30	5月事務局合同連絡会
6		第72回「社明運動」県推進委員会（中止）
	2	第1回青森保護区保護司候補者内申委員会
	17	第2回青森少年鑑別所意見交換会「第4分会」
	27	6月事務局合同連絡会
		第72回「社明運動」地区推進委員会（縮小開催予定） 【保護司全員】
		第2回正副会長会 各事業部局部長連絡協議会
7	1	更生保護の日（1～31日社明運動強調月間、各分会ミニ集会等開催） 【保護司全員】
	11	第72回「社会を明るくする運動」学校との連携事業（南中学校） 【選抜保護司】
	25	7月事務局合同連絡会
8		社明運動街頭広報活動「市役所駅前庁舎前」
	19	第3回青森少年鑑別所意見交換会「第1分会」
	29	8月事務局合同連絡会
		津軽海峡一周社明キャラバン隊広報活動 青森保護区保護司適任者確保緊急対策チーム
9	1	新任保護司辞令伝達・研修 ※
	26	9月事務局合同連絡会
		青函保護司会合同研修（函館市1泊2日） 【保護司全員】
		中堅保護司意見交換会 第2回地域別定例研修会 ※（各分会開催） 【保護司全員】
10	14	第4回青森少年鑑別所意見交換会「第2分会」
	24	10月事務局合同連絡会
		処遇基礎力強化研修 ※ 指導力強化研修 ※
11	2	第42回青森県更生保護大会（五所川原市） 【選抜保護司】
	11	第31回東北地方更生保護大会（秋田市） 【選抜保護司】
	28	11月事務局合同連絡会
12		第2回青森保護区保護司候補者内申委員会
	16	第5回青森少年鑑別所意見交換会「第3分会」
	26	12月事務局合同連絡会
1	30	1月事務局合同連絡会
		第3回地域別定例研修 ※ 【保護司全員】
		自主研修「新年会」 【保護司全員】
2		第3回正副会長会
	17	第6回青森少年鑑別所意見交換会「第4分会」
	27	2月事務局合同連絡会
		第2回理事会及び役員等合同会議 新任保護司意見交換会（令和3年度委嘱）
3	1	新任保護司辞令伝達式・研修 ※
	27	3月事務局合同連絡会
		更生保護関係団体連絡協議会 ※

青森保護観察所職員紹介

青森1・2・3
分会担当

青森4・5
分会担当

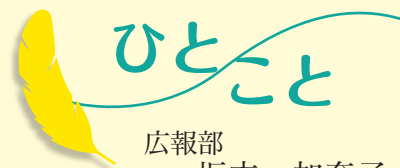
（八戸・五所川原地区兼任）



保護観察官
若松 孝之



保護観察官
杉野森 信雄



広報部
坂本 加奈子

「生前整理」

不動産の仕事をしています、近年、空き家となった実家を売却する方が増えています。又、空き家のまま何年も放置されている家が随分増えていると実感します。

その一方、雪かきや庭の管理が大変で大きな家は必要なくなったからとマンションへ引っ越される方、施設へ入居のため自宅を売却されるなど、お元気なうちに生前整理される方も多くいらっしゃいます。

主体的に取り組めるのは元気があるうち、健康寿命の日安70代半ばまでに片付けを終え、あとはリバウンドしないように、時々見直しながら暮らすのが理想的なのだとか。

私の実家はどうかといえば、3年前に亡くなった父の部屋は当時のまま手つかず。一人暮らしになった母が少しずつ片付けをしているといったところですが、高齢になるにつれ足腰が弱くなり、ゴミ出しもひと苦勞のようです。

父の遺品整理と母の生前整理。いつ誰がやるのか、母が前向きに暮らせるよう家族で話し合う時期なのかもしれません。